

# 太陽光で「エネルギーの地産地消」

エネックス(東京都東村山市)は地元の東村山市を中心に、東京都、埼玉県の家庭や事業所の太陽光発電

優良企業・しんきんゆめづくり大賞

## エネックス(東京都東村山市)



ソーラーパネルの前で地域密着の発電事業などについて話すエネックスの榎本弘容社長(東京都東村山市)

事業について掲げる基本的な考え方(コンセプト)は、持続可能な開発目標(SDGs)を意識した「スロワーフード」ならぬ「スローエナジー」の浸透。地域の食物を見つめ直すスロワードと同様、地元で生産されたエネルギーを地元に分配。地域密着を強みに売上高を大きく伸ばしている。一九五七年に燃料小売業として創業し、液化石油ガス(LPG)など主に石油製品を扱ってきた。二代目の榎本弘容社長(左)は二〇一五年に電力事業に参入。

### 光る 中小企業

東京・首都圏

固定価格での買い取り期限終了などに伴って電力の新たな売り先を探すオーナーとの契約や、自社の太陽光発電所の建設を進めてきた。現状、供給電力のうち太陽光発電による再エネの比率は約四割で、早期に五割まで引き上げることを目指している。さらに再エネのうち契約先や自社発電所でつくった電力の比率を、現状の2%弱から「50%まで引き上げたい」(榎本さん)との目標も掲げる。「二〇二一年度優良企業」(東京都信用金庫協会など主催)で「しんきんゆめづくり大賞」を受賞。電力需要が膨らむ夜間にも自社の再エネを提供できるよう、蓄電池の導入を見据えた準備も進めている。「地域に再エネを届けることで世の役に立ちたい。地域密着型の僕らしくできない事業をしつかりやっていく」。榎本さんは力を込めた。(坂田奈央)

企業データ  
▽従業員数=120人  
▽売上高=19億円  
▽所在地=東京都東村山市本町2の19の4  
▽社長ひと言=お客様に寄り添う会社でありたい。